



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 高圧ガス工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4097 URL http://www.koatsugas.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)澁谷 信雄
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)大北 隆行 (TEL) 06 (7711)2571
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	59,606	6.1	3,749	13.7	4,256	12.4	2,995	21.4
29年3月期第3四半期	56,176	△1.4	3,296	△0.7	3,783	0.2	2,466	8.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 4,462百万円(26.1%) 29年3月期第3四半期 3,536百万円(132.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	54.26	—
29年3月期第3四半期	44.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	84,256	55,113	64.3
29年3月期	79,829	51,426	63.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 54,202百万円 29年3月期 50,571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		7.00	—	7.00	14.00
30年3月期		7.00	—		
30年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	82,000	7.8	4,700	4.0	5,300	3.7	3,300	△0.7	59.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	55,577,526株	29年3月期	55,577,526株
② 期末自己株式数	372,394株	29年3月期	372,182株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	55,205,238株	29年3月期3Q	55,208,162株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、第3四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な米国経済や中国経済を背景に生産や輸出が増加したほか、設備投資や個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを供給することを基本とし、販売体制の強化や生産体制の効率化など、収益確保に向けてグループ一体となった積極的な事業活動に取り組んでまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は596億6百万円(前年同期比6.1%増加)、営業利益は37億49百万円(前年同期比13.7%増加)、経常利益は42億56百万円(前年同期比12.4%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は29億95百万円(前年同期比21.4%増加)となりました。

当第3四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ガス事業

『溶解アセチレン』は、建設等の現場工事向けに下げ止まりの兆しがあるものの、造船向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、窒素、アルゴン、特殊ガスが新規獲得及び需要先の回復により増加しました。LPガス等の石油系ガスは輸入価格の上昇に伴う販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資に持ち直しの動きがあり、溶接ロボットや工作機械等の需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、半導体向け特殊容器などが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は452億22百万円(前年同期比6.7%増加)、営業利益は35億83百万円(前年同期比17.1%増加)となりました。

② 化成品事業

『接着剤』は、ペガールが新規需要先の獲得により紙用、塗料用、粘着用に需要を伸ばし、シアノンが国内及び海外向けに高機能品が伸長しました。また、ペガロックが新規用途の開発により国内向けが増加し、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、建築用塗料が天候不順により減少し、エアゾール製品が新規需要先の獲得及び既存品の需要増により伸長したものの、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は140億84百万円(前年同期比5.4%増加)、営業利益は10億85百万円(前年同期比3.5%増加)となりました。

③ その他事業

鉄道事業者向けのLSIカードの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2億99百万円(前年同期比33.8%減少)、営業損失は56百万円(前年同期は3百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ44億26百万円増加し、842億56百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加により前連結会計年度末に比べ21億87百万円増加し、468億円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加等により前連結会計年度末に比べ22億39百万円増加し、374億56百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億40百万円増加し、291億43百万円となりました。流動負債は、未払法人税等が減少したものの仕入債務が増加し、1年内返済予定の長期借入金の振り替えにより前連結会計年度末に比べ8億16百万円増加し、236億11百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が増加したものの1年内返済予定の借入金の振り替えにより前連結会計年度末に比べ76百万円減少し、55億32百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、その他有価証券評価差額金、利益剰余金の増加により前連結会計年度末に比べ36億86百万円増加して551億13百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、平成29年5月12日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績は様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,223	17,379
受取手形及び売掛金	21,241	21,618
電子記録債権	2,312	2,568
商品及び製品	2,482	2,552
仕掛品	429	541
原材料及び貯蔵品	1,185	1,327
繰延税金資産	621	454
その他	208	462
貸倒引当金	△91	△104
流動資産合計	44,613	46,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,139	6,865
機械装置及び運搬具（純額）	2,970	3,000
土地	13,550	13,388
建設仮勘定	649	321
その他（純額）	945	922
有形固定資産合計	24,254	24,498
無形固定資産	371	330
投資その他の資産		
投資有価証券	9,893	12,040
繰延税金資産	23	17
その他	732	637
貸倒引当金	△58	△67
投資その他の資産合計	10,590	12,627
固定資産合計	35,216	37,456
資産合計	79,829	84,256

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,819	11,660
電子記録債務	5,718	6,221
短期借入金	1,516	1,456
1年内返済予定の長期借入金	33	1,016
未払法人税等	954	251
賞与引当金	1,147	643
繰延税金負債	0	0
その他	2,606	2,360
流動負債合計	22,795	23,611
固定負債		
長期借入金	3,012	2,000
退職給付に係る負債	631	599
役員退職慰労引当金	39	12
繰延税金負債	1,184	2,143
その他	741	776
固定負債合計	5,608	5,532
負債合計	28,403	29,143
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885	2,885
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	42,193	44,416
自己株式	△198	△199
株主資本合計	47,640	49,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,392	4,783
為替換算調整勘定	46	13
退職給付に係る調整累計額	△507	△458
その他の包括利益累計額合計	2,930	4,339
非支配株主持分	854	910
純資産合計	51,426	55,113
負債純資産合計	79,829	84,256

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	56,176	59,606
売上原価	40,115	42,716
売上総利益	16,060	16,890
販売費及び一般管理費	12,764	13,140
営業利益	3,296	3,749
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	174	202
受取手数料	99	88
その他	364	352
営業外収益合計	641	646
営業外費用		
支払利息	27	26
その他	127	113
営業外費用合計	154	139
経常利益	3,783	4,256
特別利益		
投資有価証券売却益	0	0
固定資産売却益	—	167
退職給付に係る負債戻入額	31	—
その他	—	0
特別利益合計	31	167
特別損失		
投資有価証券売却損	2	—
ゴルフ会員権評価損	—	8
減損損失	3	—
その他	1	—
特別損失合計	7	8
税金等調整前四半期純利益	3,807	4,415
法人税、住民税及び事業税	1,128	930
法人税等調整額	171	456
法人税等合計	1,300	1,387
四半期純利益	2,507	3,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	32
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,466	2,995

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,507	3,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,158	1,415
為替換算調整勘定	△175	△32
退職給付に係る調整額	46	50
その他の包括利益合計	1,029	1,434
四半期包括利益	3,536	4,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,480	4,404
非支配株主に係る四半期包括利益	56	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	42,372	13,351	452	56,176	—	56,176
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	42,372	13,351	452	56,176	—	56,176
セグメント利益又は 損失(△)	3,059	1,048	△3	4,104	△808	3,296

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△808百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	45,222	14,084	299	59,606	—	59,606
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	45,222	14,084	299	59,606	—	59,606
セグメント利益又は 損失(△)	3,583	1,085	△56	4,611	△862	3,749

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△862百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。